



環境未来都市 北九州市

環境局

一般会計要求総額

12,328百万円

(対前年度 +13.4%)

平成31年度予算要求の経営方針

「環境基本計画に基づく環境施策を推進し、世界の環境首都を目指すとともに、SDGsの実現に貢献していく。」

これまで培ってきた市民環境力や次世代エネルギー、環境国際協力・ビジネスといった強みを活かし、日本を先導する“低炭素社会”“循環型社会”“自然共生社会”づくりを進めていく。

SDGs実現に向けた機運を醸成させることで、本市はもとより国内やアジア地域など他地域も含めた世界全体の持続可能な社会づくりに積極的に取り組んでいく。

平成31年度 予算要求の基本的な考え方

①：新規事業 ②：継続事業 ③：拡充事業

① 循環型社会づくりの推進

食品廃棄物やプラスチックごみの削減など、ごみの減量化・資源化に向けた取り組み

- ①北九州市プラスチックスマート推進事業
- ①エコタウンを核とした循環経済構築支援事業
- ①事業系ごみ減量化・資源化促進事業
- ②産業廃棄物処理高度化推進事業
- ②日明地区廃棄物処理施設整備事業



岩屋海岸ラプアースの海岸清掃の様子

② 再生可能エネルギー導入日本一を目指した低炭素社会づくりの推進

再生可能エネルギーの導入や省エネの推進など、低炭素社会づくりに向けた取り組み

- ②「北九州パワー」による再エネの地産地消推進事業
- ②北九州水素タウン実証・PR拠点化推進事業



水素社会実現に向けた取組

③ アジアの環境改善に貢献する環境国際協力・環境国際ビジネスの推進

これまでの強みを活かした環境国際協力によるアジア地域の環境改善に向けた取り組み

- ③アジアの“グリーン成長”プロジェクト推進事業
- ③日中大気汚染・省エネ対策共同事業



フィリピン・ダバオ市との環境姉妹都市提携に関する覚書締結の様子

④ SDGsの実現と環境ブランドの構築

SDGsの実現と「北九州環境ブランド」の確立に向けた取り組み

- ④環境ミュージアム SDGs学習支援事業
- ④自然環境の保全と利活用促進事業
- ④OECD(経済協力開発機構)「SDGsモデル都市」プロジェクト推進事業



OECDによるSDGsモデル都市選定 共同記者会見の様子

※公開時点での予算要求の内容であり、平成31年度に実施することが確定しているものではありません。